

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	漂流ゴミの予測シミュレーションに関する研究委託
業 務 概 要	計画・準備 1式 協議・報告 3回 事前協議 1回 中間報告 1回 最終報告 1回 漂流物予測シミュレーションモデルのシステム化検討 1式 漂流物予測シミュレーションモデルのシステム構築 1式 成果物 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局副局長 富岡 誠司 国土交通省中国地方整備局 広島市中区東白島町14番15号
契 約 年 月 日	令和2年5月20日
契 約 業 者 名	国立大学法人 山口大学
契 約 業 者 の 住 所	山口県山口市吉田1677-1
契 約 金 額	6,859,154円(税込み)
予 定 価 格	6,859,154円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、海洋環境整備船による瀬戸内海の漂流物回収において、災害時及び平常時の効率的な回収方法を確立するため、令和元年度に検討された漂流物予測シミュレーションモデルを基に漂流ゴミの移動・滞留状況等を予測する際に必要な入力データ、出力データ及び入力方式、出力形式を検討し、当局職員が運用可能となるよう漂流物予測シミュレーションモデルのシステム構築を行うものである。</p> <p>業務遂行に当たっては、瀬戸内海における漂流物の移動及び滞留場所に関する研究実績及び、漂流物予測シミュレーションモデルの開発実績を有することが必要である。</p> <p>国立大学法人 山口大学は、瀬戸内海（周防灘）での漂流ゴミの移動に関する研究等関連のある研究実績が豊富であり、上記の漂流物予測シミュレーションモデルの検討を実施しており、本業務を遂行するに十分な能力を有している。</p> <p>本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立大学法人山口大学以外にも存在する可能性があることから、令和2年4月7日から同年4月17日までの期間において、本業務の受注希望者の公募を行ったが、参加意思確認書の提出者がいなかった。</p> <p>以上のことから、同大学と会計法第29条の3第4項（「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」）、予決令第102条の4第3項の規定に基づき、同大学と随意契約を締結するものである。</p>
業 務 場 所	中国地方整備局指定の場所
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和2年5月20日
履 行 期 間 (至)	令和3年3月25日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。